

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》百々 尚美

【概 要】

心理学において科学的研究を行うことの意義を理解し、実験法、調査法、観察法等の主要な研究手法について概観するとともに、各手法に関する専門的知識を身につける科目である。

【学習目標】

- ①心理学の研究を理解し実践するための様々な知識やスキルを身につける。
- ②公表された研究成果を調べる手順を身につけることができる。
- ③科学的研究とは何か、心理学で用いられる主要な研究手法を説明できる。
- ④心理学の研究計画を立案することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	心理学研究法の基礎とは	心理学における研究の基礎について概説できる。	百々 尚美
2	心理学を支えるさまざまな考え方とはⅠ	操作的定義について概説できる。	百々 尚美
3	心理学を支えるさまざまな考え方とはⅡ	相関関係と因果関係について概説できる。	百々 尚美
4	研究成果の公開方法とは	研究成果の公開の仕方について概説できる。	百々 尚美
5	研究成果の公開方法について (課題提出)	学術論文に書かれている序論についてまとめたレポートを提出する。	百々 尚美
6	文献データベース検索とは	図書館サーバーを用いた文献データベースの使い方について概説できる。	百々 尚美
7	文献データベース検索について (課題提出)	PsycINFOを用いた文献検索についてまとめたレポートを提出する。	百々 尚美
8	研究手法Ⅰ-研究の内容とは-	心理学で用いられる研究手法を概説できる。	百々 尚美
9	研究手法Ⅱ-実験法とは-	変数(独立変数、従属変数、剰余変数)について概説できる。	百々 尚美
10	研究手法Ⅲ-観察法とは-	自然観察法と実験観察法について概説できる。	百々 尚美
11	研究手法Ⅳ-調査法とは-	調査法(質問項目と回答方法、質問表の構成)について概説できる。	百々 尚美
12	研究手法Ⅴ-面接法とは-	面接法について概説できる。	百々 尚美
13	研究における倫理とは	倫理原則について概説できる。 研究の不正行為について概説できる。	百々 尚美
14	研究の進め方とはⅠ	研究計画の立案について概説できる。	百々 尚美
15	研究の進め方について (課題提出)	自分の計画した研究計画についてレポートを提出する。	百々 尚美

【評価方法】

授業後に行う小テストの結果(20%)、また課題への取り組み方や内容の優劣(30%)、期末試験(50%)を総合して評価する。
なお、未提出課題がある場合は単位を認定しない。
また、期限を過ぎての提出は減点の対象となる。

【備 考】

教科書 : 適宜プリントを配布する。

参考書 : 浦上 昌則 脇田 貴文 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 東京図書

加藤 司 心理学の研究法－実験法・測定法・統計法（改訂版）北樹出版
森正 義彦 篠原 弘章 心理学研究法－科学の本質から考える（心理学の世界基礎編）培風館
大山 正 宮埜 壽夫 岩脇 三良 心理学研究法－データ収集・分析から論文作成まで（コンパクト新心理学ライブラリ）サイエンス社
大野木 裕明 中沢 潤 心理学マニュアル研究法レッスン 北大路書房
アメリカ心理学会 サイコロジストのための倫理綱領および行動規範 日本心理学会
アメリカ心理学会（著）江藤裕之・前田樹海・田中建彦（訳）APA論文作成マニュアル 医学書院
日本心理学会 執筆・投稿の手引き2005年版 日本心理学会
木下 是雄 理科系の作文技術（中公新書624）中央公論新社
池内 了 科学の考え方・学び方（岩波ジュニア新書） 岩波書店
戸田山 和久 科学哲学の冒険－サイエンスの目的と方法をさぐる（NHKブックス）日本放送出版協会
American Psychological Association, Publication Manual of the American Psychological Association, 6 th Edition.

その他 ： 講義開始後に小テストを行う予定である。出席の確認は回収されたリアクションペーパーと小テストによってなされる。
欠席回数については各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。
剽窃などの不正は極めて低劣な行為であり、いかなる事情があろうとも忌避されるべきものである。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外する。
心理科学部臨床心理学科の研究協力者プール・クレジットシステムに従い、様々な研究への参加・協力を最大5%程度の加点として評価することがある(詳細については初回講義にて説明する)。

【学習の準備】

シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（30分）
講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（60分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な心理学に関する科学的知識や技術を備え、研究法について理解し、社会の様々な分野において、心の問題を評価し援助する基礎的技能を修得する能力を身につける。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。